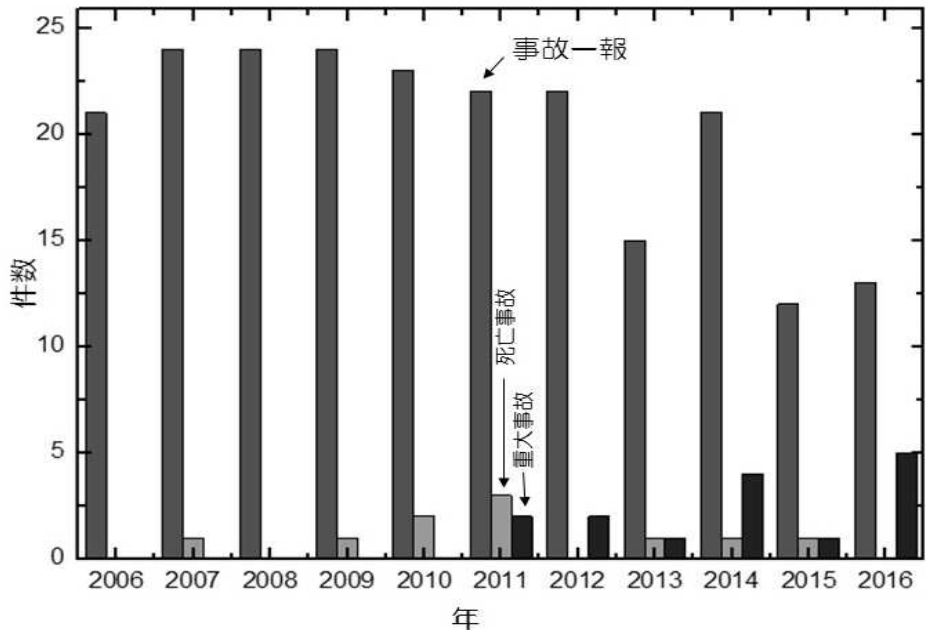


2018年 事故なく山を楽しみましょう

教育遭対部長 中川和道

新年おめでとうございます。今年も事故ゼロをめざし、山を楽しみましょう。
ここ10年間の事故統計をグラフにしてみました。



2013年以降、事故が減った傾向なので喜んだのですが、2017年はすでに17件と今後が心配な状況です。

今年も事故ゼロをめざし、山を、大いに楽しみましょう。

2015年度総会 3/8 議決

[1] 重大事故(*)の経過を受け、事故の検証や解決策の決定・実行は以下のように進めたい。

- ・各会の山行の責任はその会にあるので、事故の検証や解決策の決定実行はその会が行う。
- ・連盟が主催する行事の責任は連盟にあるので、重大事故のまとめなどはその行事の実行主体（学校など）と連盟理事会が共同で行うのが適切である。例えば、夏山ハイキングセミナー、冬山ハイキングセミナー、女性のための登山教室、岩登り体験教室、統合初級アルパインリーダー学校、中級登山学校、バスハイイクなど。
- ・近年の社会状況とくに公開性の観点の高まりを受けて、事故の検証や解決策の決定にあたっては第三者の参加を求めることが望ましい。
- ・大阪府連の執行部には相応の経験や人脈があるので、各会での事故の検証や解決策の決定実行にあたってはそれらを活用していただくことが望ましい。
- ・これらの考え方を発展させ、安全登山憲章としてまとめていく。

(注*：大阪府連での重大事故の定義は、(1)自力で下山が不可能、または(2)結果が重篤(死亡あるいは勤労者の観点からは後遺症など)な事故。全国連盟の定義はまだ検討中とされている。)

ルート

16年度(3/13 総会以後)の事故一報の件数は13件で昨年同時期10件よりも多く、海外登山を含む重大事故*(ヘリ救助)4件を起こしてしまった。ここ11年間(2006-2016年度)の事故一報の推移は21件→24件→24件→24件→23件→22件→22件→15件→21件→12件→13件。そのうち死亡事故の推移は0件→1件→0件→1件→2件→3件→0件→1件→1件→1件→0件。

府連救助隊の出動：6年間でみると2011年度に1件(吹田芳山)2012年度に1件(大台 岩登りルート)。2015/12/20の山の会ロッキーの事故で救助隊は待機態勢に入ったものの現地救助隊が動いて下さったので出動には至らずに済んだ。2016年度は0件。救助隊は日頃から各自の所在を情報交換して備えておられる。府連救助隊に感謝したい。

長さ l
速さ v

図1.
Textbox

この式を消すな!

$$\int_{-\infty}^{\infty} g(\varepsilon) d\varepsilon = 1$$

